

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科は心理学専攻、健康科学専攻の2つの専攻からなり、それぞれの分野の先端的領域の研究者、あるいは高度な専門職業人の育成を目的として人材の養成・教育研究上の目的を設定している。また、その内容が適切であることを適宜研究科会議で確認している(根拠資料1-1心研、1-2心研)。				
(2) 心身科学研究科は、愛知学院大学の理念である「行学一体・報恩感謝」の精神に則り、人間探求を心身の2方向、すなわち心理学的視点と身体的視点から実践している。大学の理念・目的と研究科の目的は密接に関連している(根拠資料1-3心研)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
1-1 心研 愛知学院大学 教育理念・目的及び各研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/purpose2.pdf 】				
1-2 心研 心身科学研究科会議議事録2023年3月8日				
1-3 心研 「建学の精神」行学一体・報恩感謝」・教育理念」ウェブサイト 【 https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/ideal.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科の心理学専攻、健康科学専攻のそれぞれの人材の養成・教育研究上の目的については、心身科学研究科会議において検討・承認されたものを「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。				
(2) 心身科学研究科の人材の養成・教育研究上の目的などは、公開ウェブサイトや履修要項に掲載することにより、教職員及び学生に周知するとともに、社会に対して公表している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
1-1 心研 愛知学院大学 教育理念・目的及び各研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」 【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/purpose2.pdf 】				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、
「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、
「C:重度な問題がある」から選択してください。

自己評価

A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(4)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。 ※各学部・研究科の自己点検・自己評価委員会等の年2回以上の開催及び委員会での取り組み内容について具体的に記載してください。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (4) 2022年度の自己点検・自己評価活動に関しては、心理学専攻と健康科学専攻のそれぞれの専攻におけるFD活動の中で、教育課程の内容、方法等の改善について検討を行った。 また、2023年3月8日開催の研究科会議において学位授与方針(Diploma Policy)に示した学習成果についてその達成目標の適切性、その測定方法の妥当性について検討した。また授業時間外学習の促進に向け、とりわけ資格獲得のための科目について学習を促す働きかけについて検討した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
2-1 心研 2022年度FD活動報告書				
2-2 心研 心身科学研究科会議議事録 2023年3月8日				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準2」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)心理学専攻および健康科学専攻の専攻科毎に博士前期課程と博士後期課程それぞれの学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)について研究科会議で承認されたものを以下の根拠資料に示すように明示し公表している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-1 心研 ディプロマ・ポリシー(博士前期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma02.pdf 】				
4-2 心研 ディプロマ・ポリシー(博士後期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma03.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な連関性がありますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)心理学専攻および健康科学専攻の専攻科毎に博士前期課程と博士後期課程それぞれの教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)について以下の根拠資料に示すように設定し公表している。				
(2)学位授与方針を達成するために必要な教育課程の編成・実施方針を設定しており、両者には適切な連関性があることを確認している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-3 心研 カリキュラム・ポリシー(博士前期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum02.pdf 】				
4-4 心研 カリキュラム・ポリシー(博士後期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum03.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 ＜学士課程＞ 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 ＜修士課程、博士課程＞ コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(6)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心理学専攻博士前期課程では心理学基礎コースと臨床心理学コースを設置し、博士後期課程ではコース設定をせずに心理学主要専門領域について選択できる設定となっている。また健康科学専攻博士前期課程では、6つの専門領域において専門職業人と研究者を養成するコースを設置し、博士後期課程では健康増進科学研究と言語遺伝情報研究の2コースを設置し、両専攻の各コースについて教育課程との整合性を確認している。				
(2) 心理学専攻、健康科学専攻のいずれのコースについても順次性および体系性が適切になるように配慮されており、とりわけ心理学専攻博士前期課程における公認心理師・臨床心理士の資格課程、および健康科学専攻の教職課程専修免許取得のための該当科目の設定について必須条件を満たしている。				
(3) 心理学専攻および健康科学専攻それぞれの専攻において教育課程の編成・実施方針をふまえて個々の授業科目の内容及び方法を決定している。第三者によるシラバスチェックにより、個々の授業内容・方法とCPに整合性があるかどうか確認を行っている。				
(4) 心理学専攻および健康科学専攻それぞれの専攻において、主に講義と実習によるコースワークと、専修科目(心理学専攻)、専攻科目(健康科学専攻)担当の指導教員による演習、すなわち研究指導が適切に組み合わされて教育が行われている。(根拠資料: 4-6心研の別表2-I, II)				
(6) 心理学専攻および健康科学専攻それぞれの専攻において、講義科目や演習科目に加え、学位授与方針にある各専門分野における社会的および職業的自立と、高度な専門職業人達成に必要な実習科目を設けている。(根拠資料4-6心研の別表2-I, II)				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-5 心研 大学院要項				
4-6 心研 愛知学院大学大学院学則【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-a.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。 また、授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 ＜学士課程＞ ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 ＜修士課程、博士課程＞ ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)シラバスに単位の実質化に必要な授業外の学習(予習・復習および必要時間)についての記載項目があり、質疑応答の方法についても明記している。また、学位論文作成に必要な論文購読、学会発表等が指導されている。				
(2)心身科学研究科のシラバスは大学のウェブ・キャンパスで公開されており、科目のねらい、到達目標、授業の内容・計画、評価方法・基準、授業外の学習等が明示されている(根拠資料4-7心研)。シラバスの内容が専門的であり、当該分野の研究者以外による評価は困難であるため、研究科の専任教員相互による第三者チェックを行い、授業内容の妥当性と授業内容とシラバスの整合性を担保している。				
(3)心理学専攻および健康科学専攻それぞれの専攻において博士前期課程および後期課程ともに実習科目を設けることで学生の主体的参加を促している。(根拠資料4-6心研の別表2-I, II)さらに講義・演習科目においてもアクティブラーニング導入への検討をFD活動等を通して行っている。				
(4)心理学専攻および健康科学専攻それぞれの専攻において大学院要項の愛知学院大学大学院 研究指導計画書(根拠資料4-8心研)により年間スケジュールを明示し、それに基づいて研究指導を行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-6 心研 愛知学院大学大学院学則【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-a.pdf 】				
4-7 心研 Web Campus シラバス検索【 https://wcs.agu.ac.jp/campus/slbsshjr.do 】				
4-8 心研 大学院要項 (研究指導計画書)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/life/life-i.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。 また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(5)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示し、公表していますか。	A
		(6)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(7)	適切に学位授与を行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科では、単位制度は愛知学院大学大学院学則第6条に従い、既修得単位の認定は、同じく大学院学則第8条に従っている。				
(2) 心身科学研究科の成績評価は、シラバスに評価方法・基準(評価割合)を明示しており、シラバスチェックにより評価方法等が適切であるか確認している。成績評価は愛知学院大学大学院学則第8条に従っており、成績評価の中でも学位認定試験については客観性を担保するうえで、ルーブリック評価の導入を検討している。				
(3) 心身科学研究科では、課程修了の認定については愛知学院大学大学院学則第4章の各条文に従って行われている。また、学位及びその授与については同じく大学院学則第5章の各条文に従って行われている。				
(5) 学位論文審査基準については、愛知学院大学学位規則の第3章(修士)および第4章(博士)に則り、1名の主査と複数の副査により、その付則にある学位論文審査基準に基づいて審査を行うことを明示している。				
(6) 心身科学研究科の学位審査については、修士論文審査には主査と当該分野の2名の副査により最終試験を行い、審査結果は心身科学研究科委員会で承認審議をうけている。博士論文審査については候補者資格検定試験にて外国語の読解力等を確認するとともに、研究科会議で承認された研究科の専任教員3名以上の審査委員会により最終試験を行い、心身科学研究科委員会で審査の結果報告、承認審議をうけている。なお、愛知学院大学学位規則の付則にある「愛知学院大学大学院博士学位審査に係る学外審査委員についての申し合わせ」にあるように学外審査員を積極的に登用しており、学位審査の客観性、厳格性を確保している。				
(7) 学位授与は上記に記載した評価・審査方法に基づいて適切に行われている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-6 心研 愛知学院大学大学院学則【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/rules/rules-a.pdf 】				
4-9 心研 愛知学院大学学位規則【 https://www.agu.ac.jp/pdf/graduate/graduate_yoko01.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心理学専攻では学位授与方針に明示されている博士前期課程における3項目、博士後期課程における3項目を指標として、学習成果の測定・評価を行っている。健康科学専攻では同じく学位授与方針に明示されている博士前期課程における2項目、博士後期課程における2項目を指標として、学習成果の測定・評価を行っている。				
(2) 心身科学研究科ではアセスメント・プランによって博士前期課程および博士後期課程の学習成果の把握および評価が行われている(根拠資料4-10心研)。また修論審査においてルーブリック評価の導入を試みている(根拠資料4-11心研)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-1 心研 ディプロマ・ポリシー(博士前期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma02.pdf 】				
4-2 心研 ディプロマ・ポリシー(博士後期課程)【 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma03.pdf 】				
4-10 心研 ディプロマ・ポリシーに示した学修成果の測定方法、達成目標及び達成状況				
4-11 心研 学位論文審査基準および学位授与の方針(DP)評価基準に基づく学位論文審査表 2022年度				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 2023年3月8日開催の研究科会議において自己点検・評価活動として学位授与方針に示した学習成果についてその達成目標の適切性、その測定方法の妥当性について検討した。また授業時間外学習の促進に向け、とりわけ資格獲得のための科目について学習を促す働きかけについて検討した。				
(2) 点検・評価結果における問題点は適宜研究科会議で専任教員間で共有・検討され、改善・向上の取り組みを行っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-12 心研 心身科学研究科会議議事録2023年3月8日				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 心身科学研究科の学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)は研究科会議にて承認され、ウェブ上、学生募集要項に公開されている。 (2) 心身科学研究科の心理学専攻および健康科学専攻の求める学習歴、学力水準、必要能力や意欲は同じく学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)に明示されている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-1 心研 アドミッション・ポリシー(博士前期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission02.pdf 】				
5-2 心研 アドミッション・ポリシー(博士後期課程)【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission03.pdf 】				
5-3 心研 学生募集要項				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

心身科学研究科

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(3)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(4)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) ①に記載した学生の受け入れ方針に基づいた学生募集および外国語、専修科目に関する論文試験、面接試験を課す入学者選抜方法を適切に設定し、愛知学院大学大学院ウェブサイト(根拠資料5-4心研、根拠資料5-5心研)、学生募集要項等により公開している。				
(3) 心身科学研究科の入学者選抜の実施においては、研究科会議で承認をうけた入試担当専任教員が出題、採点、口述試験、面接を行い、研究科長、研究科主任が入試実務に携わるなど、実施体制を適切に整備している。				
(4) 入学者選抜については、公正を担保する為に複数の専任教員による判定を行い、その結果を研究科委員会で報告、承認審議している。試験結果に基づき各専攻で必要に応じて改定案を作成、研究科委員会で提案し、承認を得た後に大学院委員会に提案、承認を得ている。				
(5) 入学を希望するものの中で外国人留学生の博士前期課程の入試において外国語科目の選択肢を増やす、博士後期課程の入試において外国語科目の負担を減らす、社会人については外国語が免除される入試を実施する等、特段の配慮が必要な受験生に対しては合理的な配慮がなされている(根拠資料5-3心研、根拠資料5-5心研)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-3 心研 学生募集要項				
5-4 心研 大学院出願資格 ウェブサイト【https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/qualification】				
5-5 心研 大学院入試試験科目 ウェブサイト【https://www.agu.ac.jp/examination/graduate/subject】				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

心身科学研究科

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 ＜学士課程＞ ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 ＜修士課程、博士課程、専門職学位課程＞ ・収容定員に対する在籍学生数比率	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 心理学専攻及び健康科学専攻それぞれについて入学定員及び収容定員を適切に設定、在籍学生数を管理し、ウェブ上に公開している。2022年度の心身科学研究科の博士課程前期の収容定員充足率は心理学専攻70.0%、健康科学専攻30.0%で全体として56.7%である。一方、博士課程後期の収容定員充足率は心理学専攻16.7%、健康科学専攻41.7%で、全体として29.2%である(根拠資料5-6心研)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-6 心研 「収容定員及び在籍学生数」 ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/data/teiin2022.pdf 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科会議において秋季・春季入試における合格者数、入学者数、及び各年次の在籍者数については周知されており、定員とその充足率について問題があれば、適宜審議議題として上げる体制にある。				
(2) 項目③の定員充足率の問題については、心理学専攻、健康科学専攻それぞれの専任教員間で認識されており、「4. 課題・問題点に対する改善策」を専任教員が実践することを継続している。				
【根拠資料名】上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-6 心研 「収容定員及び在籍学生数」 ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/data/teiin2022.pdf 】				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
③	心理学専攻では基礎系コースの博士前期課程及び博士後期課程、健康科学専攻では博士前期課程でそれぞれ定員充足率が低いことが課題として認識されている。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
③	心理学専攻では、前期課程修了者の中で学業優秀な者に対し後期課程への進学を促していく。一方で基礎系に進学する学生が少ないので、大学院で基礎系心理学を学ぶことの意味を伝えるなど、大学院生増加に努める。健康科学専攻では、博士前期課程のカリキュラムの中に平成26年度より精神健康科学領域を加え、平成28年度より健康栄養科学領域において栄養専修免許取得のための講義を加えるなど、新たな社会のニーズに応える専門性の高い人材に門戸を広げている。さらに健康科学領域の専門性を持った人材を育成するリカレント教育の推進に応じ、さらに社会人入学を促す努力を継続していく。博士後期課程については修士に対する積極的な働きかけを行う。今後、広報活動を含め更なる学生獲得にむけて努力していく。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(2)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (2) 心身科学研究科の教員組織の編制に関しては、2020年3月6日付で自己点検・自己評価委員会に提出した「心身科学研究科教員組織の編成方針」により、教員組織の編制に関する方針が示されている(根拠資料6-1心研)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-1 心研 心身科学研究科教員組織の編制方針				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教員組織の編制に関する方針と教員組織の整合性 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員（教授、准教授、講師又は助教）の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置（国際性、男女比等も含む） ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科の構成教員は、心理学専攻博士前期課程が13名、心理学専攻博士後期課程が5名、健康科学専攻博士前期課程が23名、健康科学専攻博士後期課程が13名であり、心理学専攻、健康科学専攻ともに博士前期課程、博士後期課程の設置基準上必要な専任教員数を満たしている。（根拠資料6-2心研、6-3心研）				
(2) 心身科学研究科においては多くの専門分野に対応する、実務系および基礎系の研究分野が開かれており、常に学生のニーズに対応した専門教員の組織が編制されている。心理学専攻および健康科学専攻ともにこれらの専任教員数の維持・拡充の必要に応じて計画的に資格審査を行い、現時点で適切な専任教員数が維持されている。				

(3) 心身科学研究科の組織編制に関しては、心理学専攻および健康科学専攻の各コースあるいは各専門領域別に概ね適切な数の教員が配置されている。担当教科に応じ、専門資格である臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、言語聴覚士、養護教諭、管理栄養士の資格および実務歴を有する専任教員が配置されている。専門職をもつ教員の数と職種の多様性については良好といえる。また、教員の間で負担に偏りが起こらないよう人員配置には配慮されている。また、専任教員の中の女性比率は30%に近く、良好といえる。年齢構成は40歳代～70歳代に幅広く分布し、定年退職を迎える教員が順次新任教員に入れ替わりつつある。なお、大学の「求める教員像及び教員組織の編制に関する方針」に基づき、①で示した心身科学研究科の「心身科学研究科 教員組織の編成方針」が策定されている(根拠資料6-1心研)。

(4)

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-2 心研 大学院要項(心身科学研究科 授業科目・担当教員)

6-3 心研 愛知学院大学 教員情報 検索ページ【<https://aris.agu.ac.jp/aiguhp/KgApp>】

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 研究科として専任教員の募集、採用は行っていないので、昇任のみである。心身科学研究科専任教員の昇任については、資格審査委員会を組織し、心理学部および心身科学部(学士課程)専任教員の中から随時資格審査を行い、審査結果について研究科委員会、大学院委員会の承認を得ている。資格審査は愛知学院大学大学院 教員資格基準内規についての確認事項(根拠資料6-4心研)に則って行われている。				
(2) 教員の資格審査は愛知学院大学大学院 教員資格基準内規に従い適切に行われている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-4 心研 愛知学院大学大学院 教員資格基準内規についての確認事項				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科では、心理学専攻、健康科学専攻がそれぞれ個別に、必要に応じては共同でFD活動を実施している(根拠資料6-5心研)。				

(2) 心身科学研究科心理学専攻ではFD活動として中間報告会(11/30)を開催し、その後、心理学専攻の問題点、課題等についてウェブ調査により回答を求めるかたちで意見共有を行った。健康科学専攻では「夏のセミナー」を対面形式で開催した(7/15)。8名の大学院生(修士、博士)が研究発表し、5名のオンライン参加を含む20名の教員による討論が行われた。また、大学院生の発表に対し、指導教員と大学院委員の2名による評価を行ない、それらを指導教員を通して学生にフィードバックした(根拠資料6-5心研)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-5 心研 2022年度心身科学研究科FD活動報告書

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 心身科学研究科では、FD活動や研究科会議において教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っている(根拠資料6-5心研)。				
(2) 教員組織の適切性についての自己点検・評価結果については心身科学研究科会議で共有され、問題点の改善と教員組織の向上に向けた取り組みがなされている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-5 心研 2022年度心身科学研究科FD活動報告書				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)心理学専攻では、「心理臨床センター」での臨床相談実践が、もっとも重要な社会貢献である。現在日進キャンパスのセンターにおいて、地域一般市民からこころの相談を受けている。 (2)心理学専攻の臨床心理学コースの大学院生は、心理臨床センターにおいてケースを担当し、心理臨床について実践的に学ぶ。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
9-1 心研 心理臨床センター ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/organ/psychology/ 】□				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)心身科学研究科の専任教員の教育活動、研究活動、社会活動等については、教員業績に関するデータベースシステムに登録する(年1回以上の更新)ことで、教員情報検索ページでの公開が行われている(根拠資料9-2心研)。 (2)研究活動などの教員活動が直接的あるいは間接的な社会貢献となっていることを踏まえ、これらの公開情報を共有することで、研究科全体の社会連携・社会貢献の改善・向上への取り組みを行っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
9-2 心研 教員情報 ウェブサイト【 https://aris.agu.ac.jp/aiguhp/KgApp 】				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。
A